

序 文

本書は技能訓練に対するプログラム学習のための手引きである。技能訓練のための指導方法の一つとして、プログラム学習を適用することは、その方式宜しきを得れば少なからざる訓練成果の得られることはこゝ数年の当部並びに訓大附属総高訓での試行経験から確言できる。本書は、それらの経験を基にして、その普及のための研修等に使用する目的で作製されたものである。

今日、プログラム学習に対する教科書、参考書の類は数多いが、技能訓練そのものを念頭においたものは皆無と云ってよい。その意味では本書にはユニークな価値があると思う。本書によって技能訓練に対するプログラム学習の普及が一層促進されることを祈り度い。

昭和47年3月

訓大調査研究部長

宗 像 元 介

は し が き

この手引は、職業訓練の場における実技のプログラム学習についてまとめたものである。プログラム学習の効果は、訓練プログラムの適否と同時に、プログラム学習の運用の如何にもかかっており、本書でも、訓練プログラム作成の方法のほか、学習管理に言及した。

内容はできるだけ具体的な事例を加えて、実践の場に役立つ方法論を中心に構成してある。

プログラムを作るといふこと自体は決して難かしいことではない、しかしプログラム学習の本質的な考え方に基づいて作られたものと、そうでないものとは訓練効果において違いがある。本書がそうした意味で技能訓練の指導に当る方々の参考となれば幸いである。

本書について校閲を煩わした能力開発工学センター主任研究員安田浩氏に感謝申しあげる。

発 行 再 版

発行者 職業訓練大学校

調査研究部長 宗 像 元 介

職 業 訓 練 大 学 校

神奈川県相模原市相原1960番地

TEL 0427(71)2111